

## ※都市から世界へ呼びかける気候アクション TIME TO ACT フォーラム 2024 共同メッセージ

今夏も世界各地で観測史上最高気温を記録し、気候危機への対応に一刻の猶予もありません。そのような中、世界においては、COP28 での地域気候行動サミットの初開催や「気候行動のための高アンビション・マルチレベル・パートナーシップ連合 (CHAMP)」の設立、さらには、気候変動に関する政府間パネル (IPCC) 第 7 次評価報告書サイクルでの「気候変動と都市に関する特別報告書」の作成が予定されているなど、気候変動対策において都市が果たすべき責務と役割が高まっています。

今年 11 月に開催される COP29 は、COP28 で公表されたグローバル・ストックテイクの成果文書を踏まえ、次期 NDC (国が決定する貢献) に向けた進捗を確認する重要な通過点です。多くの国・都市が 2030 年以降の野心的な温室効果ガス削減目標を検討している今、COP28 のスローガンである「Unite (団結)、Act (行動)、Deliver (成果)」を一刻も早く実現していかなければなりません。

本日の議論では、お集まりいただきました気候リーダーたちからそれぞれの取組を共有いただき、都市における気候変動対策が気候危機克服に向けた社会変革を大きく推進していることを確認できました。

私たちは、都市間やあらゆるステークホルダーと連携し、スタートアップ等の多様な主体の知見や次世代技術も活用しながら、健康・快適性・レジリエンスにも資する再エネ・省エネの取組を加速し、都市の脱炭素化をいち早く達成していく決意を表明します。

具体的には、都市においては建築物対策が重要であることを踏まえ、建築物における断熱対策など省エネルギーの推進や太陽光発電の導入拡大、蓄電池等を活用した電力需給の調整等を進めていきます。

先進的な企業等とも連携して、次世代型ソーラーセルをはじめとした新技術の開発・実装を促進するとともに、脱炭素社会の実現に向けて積極的に取り組む企業が、国内外から評価されるようグリーンファイナンスも推進していきます。

「TIME TO ACT」、今こそ脱炭素に向けて実効性ある行動を加速させるときです。私たち都市が先頭に立ち、国や様々な非国家アクターと一体となり、気候危機を克服する行動のギアを 1 段も 2 段も引き上げるよう、自ら対策を進めるとともに世界へ呼びかけていきます。